

思春期に受けておきたいワクチンについて

思春期を迎えられたお子さんをお持ちの保護者の皆様にお知らせです。定期接種ではないけれど接種しておいた方がよいワクチンもありますので、どうか接種の機会を逃さないようにしてあげてください。



1 DTワクチン (11~12歳)

定期接種

ジフテリア(D)、百日咳(P)、破傷風(T)、ポリオ(IPV)の1期定期接種では、四種混合ワクチン(DPT-IPV)か三種混合ワクチン(DPT)と不活化ポリオワクチン(IPV)を生後3か月から90か月未満の間に計4回接種することになっています。2期定期接種の対象は11歳以上13歳未満で、二種混合ワクチン(DTトキソイド)0.1mlを1回接種します。近年年長児や成人の百日咳が問題となっており、日本小児科学会ではDTトキソイドの代わりにDPT 0.5mlを1回接種することを勧めています。ただし、定期接種の2期を接種する年齢でDPTを接種した場合は、任意接種となりますのでご注意ください。

2 日本脳炎ワクチン (9~12歳)

定期接種

日本脳炎ウイルスを保有している豚を刺した蚊(コガタアカイエカ)が人を刺すことで感染します。現在関東以西を中心にして年間10人未満の発症ですが、国内の豚の多くは日本脳炎ウイルスの感染を受けており、これからも接種の継続が必要です。また中国や東南アジアなどでは流行が見られていますので、これらの地域に長期滞在する場合には接種を済ませておいたほうが安全です。

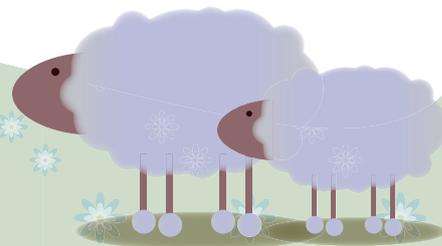
1期の定期接種では生後6か月以上90か月未満の者を対象に、通常0.5mlずつ(3歳未満の者には0.25mlずつ)を6日以上の間隔をおいて2回皮下に接種します(初回免疫)。初回免疫終了後(初回免疫の2回目終了後)6か月以上あけて0.5mlを1回皮下に接種します。2期定期接種では、9歳以上13歳未満の者に1回、0.5mlを接種します。

3 ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン (小学6年生~高校1年生の女子)

定期接種

HPVワクチンの接種により約70%の子宮頸がんが予防できると言われていますが、性行為開始年齢前に接種を完了しておくことが大切です。日本では2013年4月から定期予防接種となりましたが、2013年6月より定期接種の積極的勧奨が中止されています。詳しくは前号のコラムを参照してください。2価ワクチンと4価ワクチン(子宮頸がんだけでなく尖圭コンジローマの

裏面に続く・・・>



思春期に受けておきたいワクチンについて

予防も可能なワクチン) の2種類のワクチンがあります。どちらか一方のワクチンを3回筋肉内に接種しますが、接種間隔はワクチンの種類によって異なります。接種を希望される方は、お住いの区域を管轄する保健予防課又は碑文谷保健センターにお問い合わせください。予診票が送られてきます。目黒区以外にお住いの方は、お住いの自治体にお問い合わせください。

4 B型肝炎ワクチン

任意接種

B型肝炎ウイルス (HBV) を含む血液あるいは体液との直接接触によって感染します。HBVに持続感染している母親から分娩時に感染するだけでなく、持続感染している身の回りにいる人からも感染します。免疫がない人が感染すると急性肝炎を発症し、通常1~2カ月で回復しますが、一部で劇症肝炎を発症したり、慢性肝炎の状態になることもあります。2016年4月1日以降に生まれた子どもを対象に2016年10月から0歳児を対象に定期接種 (生後2、3、7~8カ月) が開始されましたが、定期接種導入前の世代の子どもたちの多くは抗体を持っていません。1回の接種量は10歳未満児では0.25ml、10歳以上では0.5mlで、4週間隔で2回、さらに1回目の接種から20~24週後に1回の計3回を皮下に接種します。

5 髄膜炎菌ワクチン

任意接種

髄膜炎菌による髄膜炎や菌血症・敗血症を予防するためのワクチンです。日本での髄膜炎菌感染症はまれですが、致死率の高い重篤な疾患です。アフリカなどの髄膜炎菌感染症の流行地域へ行かれる人はもちろんですが、寮やスポーツ合宿などで集団生活を送るお子さんたちも感染のリスクが高くなりますので接種しておきましょう。日本では2015年5月から4価結合型髄膜炎菌ワクチン (血清型A、C、Y、W-135) が接種できるようになっています。2歳以上で1回0.5mlを筋肉内に接種します。

学童期までに受けておかなければならないワクチンはすべてお済みですか？

お子さんの母子手帳などで接種記録をもう一度確認してみてください。打ち忘れた予防接種がある場合には医師に相談しましょう。定期接種の期間を過ぎてしまっても、接種しておいたほうがよいワクチンもあります。

2020年5月26日
日本小児科学会認定専門医
齋藤 義弘

